



だいはキッズ★ニュース

東学区安全活動少年団
東学区だいきッズ
事務局
2011年8月26日発行
No.15

南消防署見学

2011
7/26

今年度の活動第二弾は、南消防署の見学を行いました。今回は、隊員と保護者、兄弟を含め二十九名で参加しました。

はじめに、消防の仕事の説明や今年から義務付けられた住宅用火災警報器の必要性についてのお話がありました。

はじめて、消防の仕事の説明や今年から義務付けられた住宅用火災警報器の必要性についてのお話がありました。

はじめて、消防の仕事の説明や今年から義務付けられた住宅用火災警報器の必要性についてのお話がありました。

はじめて、消防の仕事の説明や今年から義務付けられた住宅用火災警報器の必要性についてのお話がありました。

Q. なぜ、火災警報器の設置が義務化されたのでしょうか。

A. 寝ている時の火事で亡くなる方が非常に多いからです。



消防隊

消防隊では、タンク車とポンプ車を見させていただきました。タンク車のタンクの中に水が入っているのが、最初にタンク車で消火をします。タンクの水が無くなるとポンプ車で消火栓や防火水槽からポンプで水を吸い上げて放水をします。

防火服は1分程度で装着できるそうです。

1つ1つ声を出して確認しながら、装着していきます。



ヘルメットよーし!



結構、重いね~!!



空気呼吸器は約15kgで、20分から30分使用できます。煙の中に入る時に使います。



頭が痛い

初めて救急車に乗ったよ(◇)

首は神経が通っていて、大事な部分なので、交通事故などで首を痛めた人に保護するために使います。



救急隊

救急車は、病気やケガをした人を運ぶ車です。救急車の中には、血圧計など患者さんの状態を見るための道具がたくさんあります。

救助隊

救助隊では、はしご車や東日本大震災にも出動した救助工作車、支援車を見させていただきました。救助隊は、火災や交通事故などの時にいろいろな道具を使って災害に遭った人を救助します。

Q. はしご車のはしごは何m伸びるのですか?

A. 45mです。15階程度の建物まで大丈夫です。



救助工作車の道具です。救助工作車には100個以上の道具があります。



はしご車

救助工作車



支援車の中には、キッチンや冷蔵庫など、生活に必要な物がありました。まるで、大きなキャンピングカーのようでした。



あとがき

普段の生活では、目にする事のない消防署の内部が見学できるのは、だいきッズに入っているからその貴重な経験だと思います。なお、この場をおかりして、今回の活動において時間を割いてくださった南消防署の皆さまにお礼を申し上げます。(M. N)

東日本大震災に行った車や救急車の中など普段見られないものを見ることができ、大人も子どもも良い経験ができたと思います。(保護者)

今回の活動で楽しかったことは、いろいろな消防署の車に乗れたことです。その中で一番スゴイと思った車は、しえん車でした。なんでもあって、まるで家のような感じ。(4年)

はしご車が、さい高で45mのびるというのがびっくりしました。南消防署の車が、東日本大震災に行っていることや出動する時の服が15キロあることもびっくりしました。(3年)





